

J R 日田彦山線の早期全面復旧と長期的な運行の確保を求める決議

平成 29 年 7 月の九州北部豪雨災害から 1 年余りが経過しているが、JR 日田彦山線については今なお復旧の時期が見通せない状況である。現在、不通となっている添田駅から夜明駅の区間は代行バスを運行しているものの、鉄道を利用していただいた地元住民は多くの不便と不安を強いられている。

これまで、日田彦山線復旧会議においては、JR 九州と沿線自治体とが復旧方法について議論を重ねてきたが、長期的な運行を確保するための方法について JR 九州と沿線自治体との考えに大きな隔たりがあり、有効な対策や具体的な復旧時期は示されないままである。

JR 九州には旧国鉄時代から線路の整備、鉄道の運営に多額の税金が投入されており、民営化に当たってはそれまでの債務の承継が免除され、経営安定基金が投入されるとともに、固定資産税の減免もなされている。経営安定基金の運用に関しては、平成 27 年の「旅客鉄道株式会社及び日本貨物鉄道株式会社に関する法律の一部を改正する法律案に対する附帯決議」の中で JR 九州に地方鉄道路線維持に努めるよう記載されていることから、広域的な鉄道ネットワークを維持していく責務があることは明白である。

よって、地元住民が安心して利用できるよう JR 日田彦山線の早期全面復旧とともに、JR 九州の責任において長期的な運行の確保を行うよう強く要望するものである。

以上、決議する。

平成 30 年 12 月 4 日

日 田 市 議 会